



よけり草  
下

中村俊定文庫  
文庫 18  
701  
2







ちんちん入るはつたのら  
 ぶんまのふたあつたのら  
 善保あふのり井よあつた  
 升よあつたれはあつた  
 中六のあつた人のあつた  
 秋のあつた白あつた

白あ



士朗  
 駒六  
 盛者  
 朗  
 白

京







白雲のり 智恵のこゝろよきま  
 二日 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 名もなき 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 任人 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 師長の月 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 連珠の丸よ 首のよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲の丸よ 谷のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま

岳路

香

朗

格

音

朗

格

音

朗

下二

雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま

格

音

朗

可忍里

雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま  
 雲のり 智恵のこゝろよきま

作良

斗入

田村







猿澤の奥よ深き山ありー  
 十之孫のやうく終はく  
 草屋の神よ穽夫とてまはる  
 くらまの歌く まはるーより  
 くらまの荒波よのちまのちま  
 ひらぬまのやうく鳥の山を  
 のちまの山よのちまの山  
 草屋の山よのちまの山  
 やまの山よのちまの山

村入 英甫 良宅 良宅 小舟 入

下口

船橋の山よ深き山ありー  
 道徳の山よ深き山ありー  
 ひらぬまのやうく鳥の山を  
 のちまの山よのちまの山  
 草屋の山よのちまの山  
 やまの山よのちまの山

良宅 鏡平 弟 村

押合の山よ深き山ありー  
 岩の山よ深き山ありー

文唄 文唄



文志  
 扇志  
 和風  
 元甫  
 嘯  
 埔  
 風  
 扇  
 志

下又

甫  
 埔  
 風  
 嘯  
 扇  
 甫  
 志  
 甫  
 志  
 埔  
 嘯











るらぬ娘のあまよふ葉をてしん然  
ハミのいしんしんしんあまよふ  
くわい画もあまよふ各界のたふ紙  
あまのらしんしんしんあまよふけ  
あまのねねのけしんしんあまよふ  
志後ハミあまよふあまのあまよふ  
羽織あまよふあまよふあまよふ  
あまよふのあまよふあまよふ  
人のあまよふあまよふあまよふ

あまよふあまよふあまよふあまよふあまよふあまよふあまよふ

秋のしんしんしんあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ  
あまよふあまよふあまよふ

あまよふあまよふあまよふあまよふあまよふあまよふあまよふ











電光石火の如く瞬時に消滅するもの  
 友志  
 山鼻  
 眉峯  
 嶺南

推来  
 白色  
 魚肝  
 菅菰  
 白英  
 梁眉  
 管白











と申すの者との幾ほのしき  
はあまのたのめと伽藍佛の  
うらやまのしるしにあらはれ  
つゝのなげ佛のうらやまのし  
はあまのたのめと伽藍佛の  
うらやまのしるしにあらはれ

うらやまのしるしにあらはれ  
つゝのなげ佛のうらやまのし  
はあまのたのめと伽藍佛の  
うらやまのしるしにあらはれ  
つゝのなげ佛のうらやまのし  
はあまのたのめと伽藍佛の  
うらやまのしるしにあらはれ  
つゝのなげ佛のうらやまのし  
はあまのたのめと伽藍佛の  
うらやまのしるしにあらはれ



多海...  
九...  
...

持藏

田中菴契

京二條麩屋町

吉田四郎重門

京寺町二條

野田治之清



